

平成30年度 公共交通勉強会

公共交通を取り巻く環境は、自動車交通の普及や超高齢社会の到来など、様々な要因が複合的に重なり合う大変厳しい状況にあり、行政や交通事業者が単独で対応するには限界があります。

そこで、県では、公共交通を取り巻く諸課題の解決に向け、地域公共交通を担う人材の育成などを目的とし、行政及び事業者を対象とした勉強会を平成19年度から毎年開催しています。

地域公共交通に係る基礎知識の習得、行政と交通事業者相互間の連携と協働に向け、平成30年度は、「地域でつくる公共交通」を年間テーマとして、法律、制度及び取組み事例などに関する講演を3回にわたり開催しました。

【主催】 兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課

【共催】 国土交通省神戸運輸監理部

【後援】 (公社)兵庫県バス協会、関西鉄道協会、兵庫県生活交通対策地域協議会

参加者数	区分	本編			番外編
		第1回	第2回	第3回 (シンポジウム)	第1回
行政 事業者	国	4名	5名	13名	—
	県(事務局含む)	10名	11名	36名	3名
	市 町	42名	41名	44名	5名
	鉄道事業者	7名	5名	12名	—
	バス事業者	32名	24名	25名	—
	タクシー事業者	10名	7名	9名	—
	その他	3名	2名	36名	—
計	108名	95名	175名	8名	
延べ386名					



第1回公共交通勉強会

本編

第1回	【日時】 平成30年7月30日(月)13:00~17:00
	【場所】 兵庫県民会館
	【内容】
	<p>交通政策基本法及び交通政策基本計画等について 国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門首席運輸企画専門官 岩野 住之</p> <p>地域公共交通網形成計画及び地域公共交通再編実施計画 国土交通省神戸運輸監理部総務企画部企画調整官 吉本 道明</p> <p>道路運送法の基礎知識について 地域公共交通確保維持改善事業等支援制度について 国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門運輸企画専門官 大谷 健太郎</p> <p>地域活性化に公共交通をいかに活かすか？ ～「安全に運べばいい」から「地域活性化装置」への進化～ 津エアポートライン(株)シニアエキスパート 山田 和昭 (若桜鉄道(株)元代表取締役社長)</p>

第 2 回	【日時】 平成30年12月17日(月) 13:00～17:00 【場所】 兵庫県農業共済会館 【内容】 地域のモビリティ確保の知恵袋2017について ～訪日外国人旅行者の地方誘客を支える交通政策～ 国土交通省総合政策局総務課（総合交通体系）専門調査官 酒井 祐介
	道路運送法の許可又は登録を要しない運送等に係る説明会 国土交通省神戸運輸監理部兵庫陸運部輸送部門運輸企画専門官 大谷 健太郎
	お客さま密着！で地域に貢献する十勝バスの取り組み ～40年ぶりの利用者増加の実例～ 十勝バス株式会社 代表取締役社長 野村 文吾

第 3 回 (シンポジウム)	【日時】 平成31年2月14日(木) 13:30～16:00 【場所】 北野工房のまち 【内容】 「ひょうご公共交通シンポジウム」として開催 基調講演「地域公共交通の維持・活性化に向けて」 三菱自動車工業(株)執行役員管理本部長（元近畿運輸局長） 若林 陽介
	話題提供「ひょうご公共交通10カ年計画の概要と取り組み状況について」 兵庫県県土整備部県土企画局交通政策課長 藤原 信一
	パネルディスカッション「ひょうごの公共交通を考える」 コーディネーター：角野 幸博（関西学院大学総合政策学部教授） パネリスト：
	若林 陽介（三菱自動車工業(株)執行役員管理本部長/元近畿運輸局長） 多田 真規子（西日本旅客鉄道(株)執行役員神戸支社長） 須和 憲和（(株)ウエスト神姫代表取締役社長） 山本 実（たつの市長/姫新線利用促進活性化同盟会会長） 石原 隆典（「ぐるっと生瀬」運行協議会事務局長） 荒木 一聡（兵庫県副知事）

番外編

第 1 回	【日時】 平成30年7月26日(木) 13:00～ 【場所】 川西市役所 【内容】 川西市夏季教職員研修講座（社会科教育研修）への参加 交通・環境・まちづくり・食育等を題材とした体験的学習プログラム 愛媛大学大学院理工学研究科 教授 松村 暢彦
-------------	---

参加者アンケート

【選択回答】

区分	第1回	第2回	第3回（シンポジウム）
回答総数	77名	64名	108名
勉強会の満足度 (回答の平均)	76.6点 (うち行政：74.7点) (うち事業者：77.7点)	84.4点 (うち行政：81.4点) (うち事業者：88.6点)	79.7点 (うち行政：80.5点) (うち事業者：78.4点)
会場までの交通手段	公共交通：78.5% 車：13.9% 徒歩：5.1%	公共交通：87.5% 車：9.4% 徒歩：3.1%	公共交通：84.3% 車：6.5% 徒歩：9.3%

【自由回答】

- 「公共交通の基礎知識について幅広く学ぶことができてよかった」（第1回）
- 「実体験に基づいた講演で説得力があった」（第1回）
- 「バスの経営に関することだけでなく、日々の業務に通ずることがたくさんあり、とても良かった」（第2回）
- 「十勝バスの取り組みはとても参考になった。モビリティ・マネジメントの重要性が分かった」（第2回）
- 「多角的な話を聞くことができ、今後の参考となった」（第3回）
- 「県市町、事業者が集まり課題の共有ができ、良いと感じた」（第3回）